

2025年度後期 第5回 リカレント研修会

## 糖尿病治療の最前線と歯の健康

広島大学病院 内分泌・糖尿病内科  
講師 医師 大野 晴也 先生

広島大学病院・診療支援部・歯科部門  
歯科衛生士 矢野 加奈子先生



### 講演内容

- ✓ 糖尿病の病態について
- ✓ 糖尿病の最新治療について
- ✓ 糖尿病と歯科治療について
- ✓ 糖尿病と歯科衛生士の役割

### 日時

LIVE配信

2 / 4 (水) 19:00 ▶ 20:30

オンデマンド配信

2月13日 (金) ~ 2月22日 (日)

### 開催方法

オンライン開催 (Zoom)

LIVE配信日の2日前までに、  
ご登録のメールアドレスへ送信します

### 講演の要約

糖尿病はインスリンの作用不足により血糖値が慢性的に高くなる疾患であり、心血管疾患や腎症、網膜症など多くの合併症を引き起こします。近年では、GLP-1受容体作動薬やSGLT2阻害薬などの新規薬剤の登場により、血糖コントロールだけでなく心腎保護を含めた包括的な治療戦略が進展しています。一方、糖尿病と歯科疾患、特に歯周病との関連性も注目されており、相互に悪影響を及ぼす「双方向性」の関係が明らかになっています。広島県歯科医師会と広島大学が中心となつて行なったHiroshima Studyでは、重度歯周病群に歯周治療を行うことにより高感度CRPの減少とHbA1cの0.39%の減少が示されました。本講演では、糖尿病の病態と最新治療の概要を解説するとともに、歯科治療との関連性や医科歯科連携の重要性について、最新のエビデンスを交えて紹介します。

また、歯科衛生士より実際の症例や、継続的な口腔管理につなげていくうえで重要となるコミュニケーションのあり方や、患者さんの自己管理を支援するための関わり方についても、歯科衛生士の視点からお話しさせていただきます。